

区民と区長のタウンミーティング概要

日 時	令和元年12月11日（水） 19時から20時30分
会 場	区役所 第11、12、13会議室
テ ー マ	令和2年度予算で検討中の主な取り組み（案）
出席者 区 民	計 16 人（男性 9人、女性 7人）
区 側	区長 教育長 各部長 企画課長 基本構想担当課長 財政課長
事務局	企画課職員2人、財政課職員7人
一 時 保 育	無
手 話 通 訳	無

区長あいさつ		
<p>本日は、令和2年度予算で検討中の主な取り組み（案）について、タウンミーティングという形で開催する。普段はグループに分かれてテーマについて議論するが、今回のテーマは来年度予算であり、一問一答形式で行う。いろいろな意見を聞かせてほしい。</p>		
区民の意見・質問(その他)	区長の回答・見解	関係部署
<p>(仮称) 子どもの権利条例について、子育て先進区の基本となるような位置づけで作っていただきたい。条例の中身を検討する過程では、学識経験者や区民の意見を反映し、区長と教育委員会で協力してほしい。また、条例をつくるにあたっての予算措置はどのような内容か。</p>	<p>(区長) (仮称) 子どもの権利条例については、子育て先進区の理念を体現できるような条例としたい。条例の制定に向けての過程は非常に重要と考えている。区民と子どもの意見も踏まえながら、多くの方に知ってもらえるようなプロセスとしていきたい。 (子ども家庭支援担当部長) 予算措置については、審議会設置、シンポジウム開催などに係る経費を検討している。</p>	<p>子ども教育部</p>
<p>外国籍の子どもの不就学について、(仮称) 子どもの権利条例の中にどのように盛り込んでいくか。また、中野区教育委員会としてどのように取り組んでいくのか。</p>	<p>(教育委員会事務局次長) 外国籍の方に対しては転入された際に公立学校のご案内等により、教育機会が確保されるように努めている。 (仮称) 子どもの権利条例への規定については技術的な課題はあるかと思うが、子どもの国籍やいろいろな違いを超えた、学ぶ権利について盛り込んでいく必要があると考える。</p>	<p>教育委員会事務局</p>
<p>待機児童対策について、来年もそういった対策が必要な状況か。</p>	<p>(区長) 待機児童について、緊急対策を2年間実施し、区全体としての保育定員は確保してきた。東中野地域、中野坂上周辺地域については、保育定員の確保が引き続き課題である。 (子ども教育部長) 緊急的な待機児童対策として設置してきた区立保育室については7園中6園は終了する。民間保育所誘致等により、区全体としての状況は改善してきた。現在は特に保育定員が不足している地域を中心に対応している。</p>	<p>子ども教育部</p>
<p>区で実施する事業の情報などを収集したいため、高齢者会館でJ-COMの放送を視聴可能にして欲しい。</p>	<p>(区長) 検討していく</p>	<p>地域支えあい推進部</p>
<p>子どもの貧困対策について、今年度行っている実態調査の結果はいつ頃わかるのか。また、調査結果に基づいてどのような事業を実施するか。</p>	<p>(区長) 調査結果は2～3月にわかる予定である。調査結果を基に有識者の意見も聞きつつ区としてどのようなことができるか、また優先的に取り組むべきことについて、来年度は議論をしていきたい。令和3年度には新しい事業ができるよう進めたいと考えている。</p>	<p>子ども教育部</p>

区民の意見・質問(その他)	区長の回答・見解	関係部署
<p>子どもの読書環境の充実ということだが、学校内の地域開放型図書館はこれからも整備していくのか。また、それに伴い地域図書館はなくなっていくのか。</p>	<p>(教育委員会事務局次長) 地域開放型図書館の学校内整備については、検討会で意見をお聞きしつつまとめているところだが、既に建設に入っている学校については、学校図書館としての図書充実を図りつつ、乳幼児への読み聞かせの場として地域の方にご活用いただきたいと考えている。 地域開放型図書館の整備に伴い地域館をなくすということは現時点で考えているわけではない。地域開放型図書館の検証含め、図書館全体としてのあり方については精査していきたい。</p>	<p>教育委員会事務局</p>
<p>地域開放型図書館について、検討会では、検討し直した方が良いという雰囲気であったが、開設していくのか。また、図書館について、消費税増税となる中で、蔵書数を充実させる方向での予算としているのか。</p>	<p>(教育委員会事務局次長) みなみの小学校、美鳩小学校及び中野第一小学校については設計が完了し建設工事が進んでいることから地域開放型として整備していくこととなるが、運用の具体的な方法については考えていく必要がある。 消費税増税への対応は適切に行っている。蔵書数については、23区中でも冊数が少ないという認識はある。改善に向けた検討を進める。</p>	<p>教育委員会事務局</p>
<p>地域開放型図書館を学校に整備していった場合、本町・東中野以外の図書館もなくしていくのか。これから整備する学校図書館には、現在の図書館にある、絨毯で親子でくつろぐことのできるスペースはできるのか。</p>	<p>(教育委員会事務局次長) 地域開放型図書館については、蔵書冊数は少なく、乳幼児親子の読み聞かせの場としての一般利用を中心に考えている。学校の活動時間中は低学年の児童が読書活動を行うことも想定しており、地域図書館の配置とは特に関連付けていない。ただし、図書館全体としてのあり方については検討を深める必要がある。 地域開放型図書館については、低年齢の子どもを中心に活用いただくことを考えているため、絨毯で寝そべることができるようなスペースの整備は考えている。</p>	<p>教育委員会事務局</p>
<p>総合体育館の工事の進捗状況について教えて欲しい。</p>	<p>(健康福祉部長) 工事は、3月までを予定していたが、5月末までに延伸することになった。6月のオープンを目指している。</p>	<p>健康福祉部</p>
<p>ネーミングライツによる愛称決定はいつごろになるのか。</p>	<p>(健康福祉部長) 2月中には決めたい。企業に愛称をつけてもらい、ネーミングライツ料をもらうことで体育館運営経費の一部に充てていく。</p>	<p>健康福祉部</p>
<p>平和の森公園、総合体育館へのバスルートはどうなるのか。</p>	<p>(健康福祉部長) 総合体育館は中野駅から遠くなるため、バス会社と交渉をしたが、現段階ではバスルートについては現状のままである。今後、需要を見ながら引き続き交渉をしていきたい。</p>	<p>健康福祉部</p>

区民の意見・質問(その他)	区長の回答・見解	関係部署
<p>東中野区民活動センターに和室を整備して欲しい。障子のある区民活動センターについては、子どもが使用しても簡単には破れないようにプラスチックのものにするなど素材を見直して欲しい。区民活動センターのロビーをオープンスペースにして欲しい。</p>	<p>(地域支えあい推進部長) ・高齢者の方から和室で床に座るのは難しいため、椅子にして欲しいとの声が多く現在の形になっている。一方で先日の台風19号の際に避難所として開放すると、寝転がれるスペースの要望もあった。それぞれの要望に沿った整備をしていきたい。 ・障子の素材については今後検討していく。しかし、「紙素材の障子だから子どもは使用禁止」といった措置は一切していないので安心して使って欲しい。 ・区民活動センターの運営は地域の運営委員会に委託しており、各地域が培ってきたこれまでの利用方法などもあって統一はされていない。地域の特性も踏まえて見直しをしていきたい。</p>	<p>地域支えあい推進部</p>
<p>公園遊具更新については、アンケートや周知方法をもっとわかりやすくし、具体的な声を取り入れ、魅力ある区のアピールポイントになるような公園を作って欲しい。</p>	<p>(区長) アンケートや周知方法については、わかりやすい方法を心がけたい。遊具に関するアンケートは区として初めて実施し大きな一歩となったと思う。今回の意見募集だけではなく、それを踏まえながら、さらに時間をかけて皆さんの意見も聞きながらと考えている。</p>	<p>子ども教育部 都市基盤部</p>
<p>シェアサイクルの導入については良いと思うが、高齢者や子育て中の方、来街者などのニーズに応えられる循環型のようなコミュニティバスの導入も検討して欲しい。</p>	<p>(都市基盤部長) シェアサイクルについては、都心10区で広域連携しているものを区も導入し、公共交通を補完する役割として導入を検討している。 コミュニティバスについては、以前は導入していたが、なかなか需要が伸びず、現在は通常のバス路線として運行している。昨年度行った調査から、高齢者等にとって公共交通が弱い地域が一部あり、他自治体で導入しているコミュニティタクシーの導入を視野に入れ、実証実験に取り組む予定である。</p>	<p>都市基盤部</p>
<p>発達障害の支援にもなる5歳児健診を区で実施していくということはないのか。</p>	<p>(地域支えあい推進部長) 現在のところ、5歳児の健診を区で実施するということは考えていない。 健診は3歳児までとしているが、発達障害の相談についてはすこやか福祉センターに心理職を配置するなどして常に相談を受け付けている。また、その後の療育などについても案内をしている。</p>	<p>地域支えあい推進部</p>
<p>台風19号の際、土のうステーションに土のうが無くなった。早急に補充をお願いしたい。また、土のうの処分方法もあわせて周知して欲しい。</p>	<p>(都市基盤部長) 予備が無くなっているステーションを早急に確認し、補充する。 また、処分方法や土のうの積み方なども土のうステーションに貼るなどして周知を図ることとしている。</p>	<p>都市基盤部</p>

区民の意見・質問(その他)	区長の回答・見解	関係部署
<p>台風19号の際の一時避難場所となった区民活動センターへの配置も含めて、地域に職員が足りていないと感じる。すこやか福祉センターへの人員配置を増やして欲しい。</p>	<p>(区長) 必要な人員について精査し、適正な配置をしていく。</p>	<p>総務部 地域支えあい推進部</p>
<p>区立公園は遊具やトイレのほかにも壊れて使えなくなっている水景施設の改修も行って欲しい。</p>	<p>(都市基盤部長) 来年度に向け公園再整備計画を策定する。その計画内で水景施設のあり方についても考えていきたい。主な取り組みでは、公園遊具の安全対策を引き続き進めるほか、ユニバーサルデザインに配慮した公園トイレの整備も計画的に進めており、来年度も2公園で整備を予定している。</p>	<p>都市基盤部</p>
<p>中学校区8区を核として、すこやか福祉センターや児童館を各8施設整備するなど、対象や年齢を特定しない地域をベースとした緩やかなコミュニティの再建・構築をして欲しい。</p>	<p>(区長) 既存の区民活動センターなどにおけるコミュニティを活用しつつ、目的によるつながりも考慮し、児童館が持つ機能も整理をしながら整備をしていきたい。</p>	<p>企画部</p>
<p>令和元年度の1歳6か月内科健診の委託化に続き、令和2年度に向けて3歳歯科・内科健診の委託化を拡充するのか。</p>	<p>(地域支えあい推進部長) 3歳児健診については、歯科については歯科医療機関に委託をするが、内科健診についてはすこやか福祉センターにおける集団健診を継続しつつ、医療機関での受診の希望等があった場合、委託医療機関において健診を受けることができるようにする取組である。 区では子どもの数が増えてきていること、働く母親が増えてきており、月1回の集団健診がなじまない家庭も増えてきていることなどから、かかりつけ医の考え方も踏まえて子育てをする親の利便性の向上を目指して拡充していくものである。</p>	<p>地域支えあい推進部</p>
<p>基本構想・基本計画を策定していくにあたって財源の問題が出てくるが、公共施設総合管理計画について、総務省モデルではなく中野区モデルで作り上げて、財源を生み出す必要があるのではないか。</p>	<p>(区長) 中野区モデルの公共施設総合管理計画については、当然総務省モデルを参考にしつつ、今後は基本計画の中で施設の再配備を考えていかないといけないと考えている。今後10年間の投資的経費や社会保障経費を踏まえ、施設の統廃合等を進めていくにあたって、財源の裏付けのデータを示しながら改めて議論していきたいと考えている。</p>	<p>企画部</p>